

事故速報

報告日：2023年7月20日

報告者：嘉藤 暖博

事故の区分	小事故 ・ ○中事故 ・ 大事故 ・ 重大事故
事業者名	BLUE HOLIC Sea Kayak St.
発生日時	2023年7月19日 水曜日 15時頃
プログラム (コース)名	青の洞窟ツアー 午後コース
発生場所	ツアー終盤塩谷漁港を過ぎてゴールまで500m程の地点
事故発生時の 気象海況状況	北東の風1~2m/s 波無し 気温24℃ 曇り
事故発生状況	「体がうまく動かない」というので近付くと脱水症状に見えたので水を与えるが、吐き気を訴え気分が悪そうに見えた。少し震えが出ていたが言葉は普通にしゃべることが出来た。
事故発生時の対応	水を与え、傷病者の乗る2人乗りカヤックを牽引してゴールの砂浜に上陸。2人がかりでおんぶ搬送し、BLUE HOLIC ベースのウッドデッキに座らせた。
事故後の対応	体の濡れた部分を拭いてウェア、タオルなどで保温し温かく甘い麦茶を飲ませていた。脈拍は少し弱めだが、手首でも取れて60/m。呼吸は浅く弱い。肌は湿って冷たい。四肢に力が入らず立てない状態。 回復が遅いので念のため119番通報をする。救急車が到着し、血圧を測っているのをチラ見すると128-83、脈拍数63/mだったので少し安心した。 傷病者と付き添い1名が救急車で病院へ搬送。もう1名は搬送先の病院が分かってから車で迎えに行く予定だったが、10年ペーパードライバーだということでBLUE HOLIC スタッフが自車でもう1名を乗せて迎えに行く。 小樽市内の病院で点滴を打ってもらい8割がた回復したと報告を受けた。
再発防止策	申込書には船酔い、体調不良、尿意、等、些細なことでもガイドに申し出てください。と記載しているがツアー前のセーフティトークの中に取り入れ口頭で説明する。 天候、気温、年齢にかかわらず水分補給のチェック声かけとチェックをする。 これから繁忙期に入り、1ツアーの客数が多くなり目が行き届きにくくなると思うが、リグループの際には参加者全員のチェックをする。 因みに傷病者は29歳男性、数年間引きこもり生活の為全く運動をしていない生活で筋肉量は少なく細身の体。 結局のところ、運動不足に船酔い、脱水、低体温の合併症ではないかという医師の見立てだった。